

この通信は、高田松原津波復興祈念公園の「グループ」(公園管理者とともに公園の管理運営にいっしょに取り組むパートナー)のみなさんに向けて発行しています。

話題

第4回グループ代表者会議を開催しました(令和元年7月15日)！！

- ◇15グループ・16名(複数団体重複あり)が参加し、第4回グループ代表者会議を開催しました。
- ◇今回は、第1部で一部開園間近の祈念公園を見学、第2部の会議では、グループによる協働活動、特に一部開園にあわせた「オープニングイベント」の実現に向けて意見を交わしました。

【第1部】 現地見学(祈念公園工事現場)

- 展示やテナント工事を残してほぼ完成した国営追悼・祈念施設の「管理棟」(東日本大震災津波伝承館、道の駅情報提供施設・地域振興施設)、植栽や舗装工事がほぼ完了した「祈りの広場」を見学しました。
- また、バス車窓から、工事が進む県の整備エリアも見学しました。



道の駐車場と背後の管理棟



国営追悼・祈念施設(切通空間)



市地域振興施設内部

【第2部】 会議(陸前高田市コミュニティホール)

(1) 新規グループ紹介

- 前回代表者会議以降に、新たに登録のあった4グループを紹介しました(現在登録グループ数：25)

一般社団法人公園財団
・国営公園等の管理を行っている団体。
・「花譜」という被災地へのスイセン植栽に取り組んでおり、その経験も活かして、祈念公園にも貢献していきたい。

イマジネーション株式会社
・横浜にある企業。
・市のノーマライゼーションの取り組みを本取り組みを認知し、登録した。
・市民協働としては公園内でのイベント開催などを考えている。(代理紹介)

陸前高田NPO協会
・市内のNPO同士の連絡、協力ための組織。
・まちづくり等の分野にかかるNPOが複数参加しており、祈念公園何か連携、協力できる部分があると考え、参加した。

陸前高田フラワーロードを応援し隊！
・国道45号沿いに花を植栽する市民活動を支援する東京のボランティア団体。
・引き続き花を植える活動を継続したい。(代理紹介)

(2) 活動状況紹介

- 前回代表者会議以降に実施された市民協働による活動の状況について報告いただきました。

高田松原を守る会
・県と連携して防潮林へのマツ植栽、保育を実施中。
・今年度は計4回、植樹イベント開催したほか、小友小、米崎小、シンガポールによる植樹イベントを開催。

陸前高田「ハナミズキのみち」の会
・祈念公園内の避難ルート沿いへのハナミズキ植栽に向けて、県と協議中。
・シンボルロード沿いへは市と連携して植栽を実施中。(代理紹介)

桜グループ
・祈念公園公園、市運動公園内へのサクラ植樹に協力すべく、県、市と協議中。
・今年中の試験植樹を実施する方向で検討中。

(3) 「オープニングイベント」の企画

- 今年の1月以降、グループ有志が9回の意見交換を重ねて検討した「オープニングイベント」（一部開園当初1ヶ月間程度を対象とした、市民協働による展示や参加型イベント、下記参照）について、代表して前に進める会（五味先生）から説明いただきました。
- その結果、このイベントを「グループの総意による市民協働のイベント」として実施することについて、出席したみなさんの理解を得ました。
- また、このイベントの実質的な主催者となる「実行委員会」の第1回会合を7月22日（月）に開催することになりました。

目的

<p><伝承> 陸前高田市民としての震災の伝承、発信</p>	<p>祈念公園における市民協働活動の自覚の第一歩、試金石</p> <p>開園当初の混雑緩和、利用分散、中心市街地等への利用者誘導も期待</p>
<p><感謝> 陸前高田市民としての復興支援に対する感謝</p>	
<p><魅力向上> 来訪者の満足度の向上 祈念公園の認知度の向上 付加価値の向上</p>	

期間

令和元年9月後半？（祈念公園等一部開園）
～令和元年10月後半（約1ヶ月間）

場所

旧 一本松茶屋（飲食店部分を除く）
※使用について市の協力をいただく

実施者

本イベント参加団体による「実行委員会」（事務局：観光物産協会と仮定）
※県、市の“後援”による協働の取り組み

予算措置

参加グループによる拠出金、有償イベントの収益の一部で充当（金額目標：？万円）

企画（現段階でのイメージ）

共通企画

有償企画／無償企画で一体性を持たせる、市民としての気持ちを伝える何か
※実施の有無を含めて検討中

<これまでに出了アイデア> メッセージVTR、ウエルカムお茶っこ、スタンプラリーシンポジウム、花壇づくり、モザイクアート など

無償企画

- ・無料で開催するもの
- ・ただし、参加者が個別に「募金箱」を設置するものもあり

- 講演会・ワークショップ
 - 市民によるトークイベント
 - 避難所運営のワークショップ
 - 炊き出し体験
 - 避難所生活グッズの製作体験 等
 - ※講師料、材料費等の実費相当は徴収
 - ※休日等を中心に開催
- 写真・パネル展示（個別募金あり）
 - 震災前～直後～震災後を時系列で紹介する写真展
 - 今泉の歴史と災害
 - 気仙川、古川沼の生き物
 - ※開催期間中継続開催
- 展示（パネル・実物・模型）
 - 避難所生活の知恵
 - 震災前の高田のまちなみ模型
 - 市民協働グループの活動紹介

有償企画

- ・有料で開催（利用者から料金等を徴収）するもの

- ワンコイン語り部
 - ・市内で活動する語り部によるリレーガイド
 - ・30分、500円程度
 - ※休日等を中心に開催
- ミニ講演会
 - ・震災、避難所生活等生の経験をテーマとしたミニ講演会 など
 - ・30分、500円程度
 - ※休日等を中心に開催




(4) その他意見交換

- そのほか、次のような意見が出されました。

- 公園内に適切な場所があれば、花を植える活動をしたい。
(回答) 国道45号沿いなども含めて、植栽が可能な場所があるか検討します。
- 災害時を含めて駐車場から円滑な出入りができるように、出入口を複数設けた方が良い。
(回答) 出入口は増設も含めて検討します。また、一部開園時から避難誘導看板はしっかりと設置します。
- 全面開園時はもちろん、一部開園時も身障者を含めて円滑に避難できるように避難経路等を検討することが必要。
(回答) 施設の管理者として一部開園の状況も踏まえながら避難誘導計画を検討し、また避難訓練も実施します。

ご参加いただいたみなさん、お疲れ様でした！次回のグループ代表者会議の予定は改めてご案内します！！

<発行>

<p> 岩手県 県土整備部 都市計画課 (担当：阿部・泉田) 【電話】019-629-5890(直通)・9137(FAX) 【E-mail】AG0007@pref.iwate.jp 【住所】盛岡市内丸10番1号（〒020-8570）</p> <p>岩手県 沿岸広域振興局 土木部 大船渡土木センター (担当：本間・中谷) 【電話】0192-26-1951(直通)・27-8785(FAX) 【E-mail】BG0005@pref.iwate.jp 【住所】大船渡市猪川町字前田8-1（〒022-0004）</p>	<p> 陸前高田市 建設部 都市計画課 (担当：志田・永山) 【電話】0192-54-2111(代表)・3888(FAX) 【E-mail】tosikei@city.rikuzentakata.iwate.jp 【住所】陸前高田市高田町字鳴石42番地5（〒029-2292）</p> <p> (株)プレック研究所 (担当：酒井・宮脇) 【電話】03-5226-1106(直通)・1114(FAX) 【E-mail】takata311@prec.co.jp 【住所】東京都千代田区麹町3-7-6（〒102-0083） 陸前高田市米崎町字和方11番地（〒029-2206）</p>
--	--